概要版

第2次 五泉市環境基本計画

2018（平成30年度）―2027（平成39年度）

望ましい環境像

水と緑を未来へ紡（つむ）ぐ
人と地球にやさしいまち　泉都（せんと）ごせん

望ましい環境像とは五泉市が理想とする環境の姿であり、本市の環境について、「こうなってほしい」、「こうあるべきだ」と思い描く、将来ビジョンです。
望ましい環境像は第1次計画を継承し、引き続き、水と緑を将来に繋いでいくための取組みを推進します。

環境基本計画は、五泉市のかけがえのない環境を保全し、未来へ受け継いでいくために、市民、事業者、市が手を取り合って取り組むべき方針をまとめたものです。

計画の期間

本計画の期間は、平成 30 年度（2018 年度）から平成 39 年度（2027 年度）までの 10 年間とします。
ただし、本市を取り巻く社会情勢の変化や新たな環境課題等を考慮し、必要に応じて計画の見直しを行います。

平成 30 年度（2018 年度） → 平成 39 年度（2027 年度）
↑ 社会情勢の変化や新たな環境課題等による見直し

計画の担い手

本計画の担い手は市（行政）であることはもちろんのこと、市民・事業者も五泉市の環境の将来を担う当事者です。それぞれが計画で定めた施策に取り組み、また、協働して取り組む必要があります。

本計画の対象

- 自然環境
- 生活環境
- 社会環境
- 地球環境
- 市民参加・協働体制の形成

五泉市の環境の現状と課題を踏まえ、望ましい環境像を実現するため、取り組むべき環境施策を以下の5つの基本目標に整理しました。

基本目標Ⅰ

豊かな自然と伝統のある風土を守り、快適に暮らせるまちづくり

環境目標

1. 豊かな植生と多様な生態系を守る
2. 人と自然にやさしい農業を行う
3. 自然と歴史が調和した景観づくりを進める
4. 潤いと安らぎ、豊かな自然を感じられる快適環境を作る

五泉市の山林や田畑、様々な生き物たちを守るため、森林整備、環境に配慮した農業等を進めます。また、豊かな自然が織りなす快適な生活環境を身近に感じられるよう、自然に触れ合える環境の整備に取り組みます。

◇主な取り組み◇

- 森林整備活動の支援
- 地元産木工製品の利用促進
- 外来種をむやみに捨てない
- 環境保全型農業の推進
- 田園景観の確保
- 地産地消の推進
- 緑化、花のまちごせんの振興
- 環境に配慮した公共工事の実施

五泉市が誇る田園景観

菅名岳郷土の森散策道

南公園

基本目標Ⅱ

きれいな水と大地、さわやかな空気のもとで、安全・安心に暮らせるまちづくり

環境目標

1. 美しい水辺とおいしい水を守る
2. さわやかな空気を守る
3. 安全・安心な生活を守る

空気や水が汚れたり、騒音・悪臭の問題が発生したりしないよう、水質等の調査や汚水処理の普及を進めます。

また、ひとたび汚染が懸念される事態が生じた場合は、速やかに情報提供を行い、だれもが安心して毎日を送れる取り組みを進めます。

◇主な取り組み◇

- 地下水、河川水の水質等の監視
- 河川清掃参加の拡大
- 下水道、合併処理浄化槽の普及促進
- 工場排水の適切な処理
- 野焼きの禁止
- 騒音、振動の監視体制の整備
- 化学物質の適切な処理
- 注意喚起情報の提供と受け取り

仙見川ふるさとづくり河川公園

仙見川渓谷長瀞

基本目標Ⅲ

ものを無駄なく循環させ、資源を大切にするまちづくり

環境目標

❶ 循環型社会の実現に向けて行動する

大量消費、大量生産といった社会構造をできるだけ廃棄物を排出しない循環型社会に転換するため、リデュース（廃棄物等の発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）などに取り組みます。

◇主な取り組み◇

- ごみの減量化、再利用、再資源化の推進
- 環境物品（エコマーク製品等）の購入
- 不法投棄の撲滅

自治会による古紙の集団回収

基本目標Ⅳ

次世代のために地球環境の保全に貢献するまちづくり

環境目標

❶ 地球温暖化防止のために行動する
❷ 地球規模の環境問題に貢献する

地球温暖化問題をはじめ、地球規模の環境問題であるオゾン層の破壊や酸性雨の影響などにも関心を持ち、対策を実践することで、「地球にやさしいまち泉都ごせん」を実現します。

◇主な取り組み◇

- 電気、ガス等のエネルギーを節約する
- エネルギーを使用量が少ない（省エネ）製品を使用する
- 再生可能エネルギーを活用する
- エコドライブを実践する
- エコカーを使用する

大規模太陽光発電所（メガソーラー）

LED 防犯灯

基本目標Ⅴ

環境課題をみんなで学び参加する協働のまちづくり

環境目標

❶ 環境を守り育てるひとづくりを進める
❷ 地域や事業者の環境活動を支援する
❸ 環境ネットワークづくりを進める

４つの基本目標の取り組みを進めるため、行政・市民・事業者との協働やその橋渡し役としての NPO 等の環境団体と連携していきます。また、環境教育・環境学習、必要な情報提供により、市民の環境に対する意識を高めていきます。

◇主な取り組み◇

- 環境に関する情報を提供する
- 環境学習に取り組む
- 地域の環境活動を支援する
- 計画の担い手である市民･事業者･行政の意見交換の場を構築する

環境学習（水生生物による河川の水質調査）

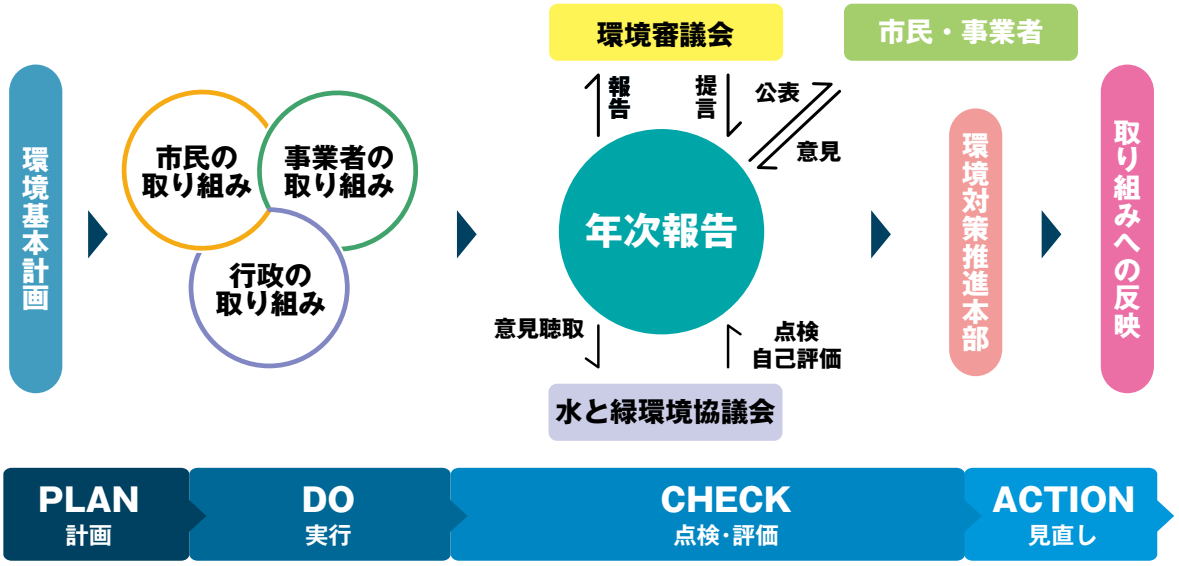
重点施策

本計画では、本市の環境の保全に関わる施策の中から、10 年後の本市の姿を見据えて、特に重点的に取り組むべき施策を横断的に捉え、これを特に「重点施策」として位置づけることとします。

本計画の重点施策を次の 3 つのプロジェクトにまとめます。

プロジェクトの名称	取組の概要	具体的な取組
生物多様性保全プロジェクト 1	私たちの暮らしは、食料や水、気候の安定など、多様な生物の関わりあう生態系から得ることのできる恵みによって支えられています。 市内に住む様々な野生動植物を守るため、森林整備、環境に配慮した農業等を進めます。	森林整備活動（林業活動）の支援 生態系調査の実施 外来種対策の実施 農薬や化学肥料をできるだけ使用しない農業の推進 水田の持つ環境保全機能の回復及び維持 美しい河川等の確保 節約行動による温室効果ガスの削減 省エネ行動による温室効果ガスの削減 再生可能エネルギーの普及促進 適切な環境情報の提供
水環境保全プロジェクト 2	豊かな自然がはぐくんだ地下水・湧水は、本市のシンボルであるとともに、市の水道や工業用水としても活用されるなど、生活に深くかかわっています。この美しい水環境を保全するため、水源の保全対策、汚水対策、美しい水辺の形成に努めます。	森林整備活動（林業活動）の支援 生態系調査の実施 農薬や化学肥料をできるだけ使用しない農業の推進 市民が集える親水空間の整備 緑化の推進 水源保全対策の充実 美しい河川等の確保 総合的な汚水処理対策の推進 土壌汚染の抑制
地球温暖化防止プロジェクト 3	日本は地球温暖化対策に関する国際的な枠組みである「パリ協定」等を踏まえ、2030 年度に 2013 年度比で 26%、温室効果ガス排出量を削減するとの目標を掲げています。五泉市も、その目標達成に向けて、省エネルギー、エコドライブ、再生可能エネルギー利用の取り組みを通じて、温室効果ガスの排出量を削減していきます。	森林整備活動（林業活動）の支援 水田の持つ環境保全機能の回復及び維持 自然を感じる住空間の確保 緑化の推進 節約行動による温室効果ガスの削減 省エネ行動による温室効果ガスの削減 再生可能エネルギーの普及促進

推進体制



進行管理の流れ

本資料に関するお問い合わせ先

五泉市環境保全課
TEL：0250-43-3911
〒959-1692 五泉市太田 1094 番地 1
FAX：0250-41-0006 E-mail：kankyo@city.gosen.lg.jp